



前方循環の両側脳主幹動脈閉塞を伴う脳梗塞急性期に対する機械的脳血栓回収療法と転帰

2011年4月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院脳神経内科又は脳卒中集中治療科に脳梗塞で入院し、カテーテルによる脳の血栓回収療法の治療を受けられた患者さん。

研究協力をお願い

当科では「前方循環の両側脳主幹動脈閉塞を伴う脳梗塞急性期に対する機械的脳血栓回収療法と転帰」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2011年4月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院脳神経内科又は脳卒中集中治療科で脳梗塞に対してカテーテルによる脳の血栓回収療法の治療を受けられた患者さんの転帰（後遺症の程度）を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：前方循環の両側脳主幹動脈閉塞を伴う脳梗塞急性期に対する機械的脳血栓回収療法と転帰

研究期間：研究実施許可日から2027年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 脳神経内科 大学院教授 木村 和美

(2) 研究の意義、目的について

脳は左右の内頸動脈と椎骨動脈の4本の太い血管で栄養されており、内頸動脈は中大脳動脈と前大脳動脈に枝分かれます。中大脳動脈は脳の前外側を栄養しており、前大脳動脈は脳の前内側を栄養し左右が前交通動脈でつながっています。脳の前側を栄養する内頸動脈、中大脳動脈、前大脳動脈、前交通動脈を前方循環と呼びます。このうち、内頸動脈や中大脳動脈の太い血管に血栓（血のかたまり）が詰まって脳梗塞を起こすと、強い半身麻痺や言葉が出なくなる、などの重い症状をきたしてしまうため、カテーテルで血栓を回収する治療が有効とされています。太い血管が1本だけ詰まるのがほとんどですが、稀に左右両方の太い血管が詰まることもあり、特に重症とされています。

本研究の目的は、脳梗塞を起こしてカテーテル治療を受けた患者さんのうち、前方循環の左右両側の太い血管が詰まっている患者さんと、左右いずれかの血管が1本だけ詰まった患者さんを比べて評価することで、両側の脳血管が詰まっていることと転帰が関連するかどうかを明らかにすることです。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2011年4月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院脳神経内科又は脳卒中集中治療科に脳梗塞で入院し、カテーテルによる血栓回収療法を受けられた患者さんのうち、両側の脳血管が詰まっている患者さんと左右いずれかの血管が1本だけ詰まった患者さんの年齢や症状、検査所見などを比べて解析し、両側の血管が詰まっていることが転帰と関連するかどうかの検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴、頭部MRI画像、治療内容、合併症の有無、転帰など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 脳卒中集中治療科 杏名 章仁 大学院生（助教）

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5



電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6637

メールアドレス：kucchan-23@nms.ac.jp